

8年生 社創 夏休み明けの活動がスタートしました

夏休み明け最初の「社会創生プロジェクト」では、実行委員が作成したスライドを基に、これまでの活動や夏休み前にハピテラスで開催した「志航祭」の振り返りを行いました。子供たちは、自分たちの歩みを多角的に見つめ直し、「本当に地域のためになっていただろうか」「イベントを開催すること自体が目的になっていなかったらうか」といった本質的な問いに向き合いました。その中で、「関わりの数は多かったが、新しいつながりは少なかった」「一つ一つの活動の意味をもっと深く考える必要がある」といった具体的な課題が見えてきました。その一方で、「決して失敗ではなかった」「情報発信や、実際に貢献できた部分もあった」と、これまでの成果に自信を持つ声も上がっています。今後は文化祭に向けて、各グループがこれまでの歩みを再確認し、「地域貢献」の意味をもう一度捉え直しながら活動を進めていく予定です。また、学年のうた「志航」の披露に向けて、各パートでの音取りも始まりました。実行委員を中心に、「歌を通して何を伝えたいか」「どう表現したいか」を自分たちで考えながら、熱心に練習に励んでいます。



